

がん検診に関する検討会	
平成16年2月26日	参考資料1

## 検討の視点について

## 検討の視点に基づく乳がん検診・子宮がん検診の整理

検討の視点	乳がん			子宮がん	
	視触診	マンモグラフィ	超音波	頸がん	体がん
1. 検診の有効性	×	30歳代 ×	—	◎	—
		40歳代 ○			
		50歳代 ◎			
※諸外国	一部	○	×	○	×
2. 検診の受診率	12.3%			14.6%	
受診者数	2,830,296人	448,916人	不明	3,825,670人	332,495人
3. 疾病特性					
罹患率(人口10万対)※1	43.6			16.1	
死亡率(人口10万対)※2	11.1			2.6	1.3
死亡数※2	9,654人			2,367人	1,272人
好発年齢等	40歳代			40歳～50歳代 20歳～35歳の 罹患率増加	50歳～60歳代
原因	不明(ホルモン要因等)			ヒトパピローマウイルス	不明(ホルモン要因等)
ハイリスク者	家族歴、未産・高齢初産、肥満等			性活動の活発化、多産等	未経妊、閉経等
早期発見による予後	良好			良好	良好
診断技術	マンモグラフィ、超音波、マンモトム等			細胞診、組織診等	内膜細胞診、超音波等
治療	早期発見→乳房温存			早期発見→子宮温存	発見→子宮摘出
4. リプロダクティブヘルス	女性のQOLへの影響大			出産可能年齢に多発 若年層への拡大	閉経以降
5. 実施体制					
人材・機器の確保 精度管理	十分 医師会等	不十分 精中委	十分 —	十分 日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会等	十分
教育・相談	乳がんについての教育不十分 市町村・保険者・企業等			若年への教育不十分 学校・市町村等	教育不十分 市町村等

※1 「地域がん登録」研究班(主任研究者:津熊秀明)の平成10年度推計値より

※2 平成13年度人口動態調査より

## 検討の視点

### 1. 検診の有効性

- 検診による死亡率減少効果について、これまでに得られた科学的根拠(EBM)を重視し、その際に、諸外国における評価及び実施状況も考慮

### 2. 検診の受診率

- 受診率の向上を重視

### 3. 疾病の特性に応じたきめ細やかな対応

#### (1) 疾病の特性

- 発症原因が分かっているものについては、その原因の特性に基づいた対応を実施
- 疾病の最近の罹患状況・死亡状況と今後の動向予測に基づいた対応を実施

#### (2) 介入による予後の改善

- 技術(診断・治療)の進展により、これまで以上に予後の改善が図られるものを重視
- ハイリスク層に対して重点的にアプローチするなど対象を明確化

### 4. リプロダクティブヘルスの推進

- 生涯にわたる女性の健康とQOLの向上
- 次世代への影響の観点から妊娠、出産への関わりを重視

### 5. 実施体制

- 検診従事者や機器の量的・質的な確保と検診の精度管理の充実
- 集団に対する啓発普及や健康教育及び個人に対する相談の充実

女性の年齢階級別人口(平成14年10月現在)

(単位 千人)

都道府県	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~
北海道	196	184	182	201	262	207	199	185	159	127	165
青森県	46	45	49	54	64	50	50	54	48	37	45
岩手県	41	40	44	49	58	45	49	52	48	40	50
宮城県	80	73	75	82	98	71	70	71	65	53	64
秋田県	32	32	38	43	51	39	42	48	46	37	45
山形県	35	34	39	43	50	37	39	44	45	39	48
福島県	63	61	68	74	86	61	64	69	68	58	71
茨城県	103	91	90	103	128	101	90	80	74	64	83
栃木県	69	61	62	70	85	65	59	56	53	46	57
群馬県	72	62	59	66	86	71	64	59	55	47	62
埼玉県	283	236	207	219	301	264	232	180	132	102	134
千葉県	238	198	178	191	258	226	198	162	127	99	130
東京都	531	446	371	350	462	416	400	366	296	227	296
神奈川県	366	308	259	253	346	304	277	231	180	134	174
新潟県	75	71	73	83	104	79	79	83	80	70	95
富山県	38	32	32	36	49	42	38	38	35	29	43
石川県	42	36	36	37	50	42	37	36	34	28	40
福井県	27	25	26	26	35	26	25	27	26	22	31
山梨県	30	28	27	29	35	28	28	26	25	22	32
長野県	74	67	65	68	87	73	71	70	70	63	85
岐阜県	74	65	64	68	90	73	70	66	58	48	62
静岡県	135	119	116	123	160	131	125	115	101	83	111
愛知県	288	239	212	210	287	245	226	194	156	121	158
三重県	65	59	57	60	78	64	61	59	53	45	59
滋賀県	49	43	42	43	55	43	38	36	33	27	37
京都府	99	83	75	77	114	96	88	80	69	56	83
大阪府	372	302	254	255	371	330	316	266	205	152	202
兵庫県	215	185	173	175	236	199	186	171	147	115	155
奈良県	53	47	44	47	65	54	49	42	36	29	40
和歌山県	36	33	33	34	45	38	37	37	34	29	40
鳥取県	18	17	19	21	25	19	19	21	21	18	25
島根県	21	20	22	24	31	25	24	29	28	25	36
岡山県	66	56	57	60	80	69	63	63	60	49	72
広島県	105	88	86	90	121	104	93	88	80	67	96
山口県	48	41	43	49	67	57	55	56	52	44	62
徳島県	26	24	25	28	36	27	26	29	28	24	31
香川県	34	29	30	33	45	35	32	34	32	27	39
愛媛県	48	44	46	50	66	52	51	52	50	42	57
高知県	25	22	24	26	35	29	28	29	29	26	36
福岡県	181	157	157	170	220	169	163	155	137	111	152
佐賀県	26	26	28	31	36	27	28	29	27	24	33
長崎県	46	45	49	54	64	48	51	51	49	42	56
熊本県	56	56	60	66	76	58	60	64	60	52	73
大分県	38	35	38	42	53	42	42	43	41	36	46
宮崎県	35	34	38	43	51	37	38	41	38	31	43
鹿児島県	51	52	57	64	70	51	57	63	63	54	74
沖縄県	48	44	46	47	48	29	34	33	28	22	36
全 国	4,699	4,099	3,876	4,064	5,321	4,394	4,171	3,881	3,382	2,744	3,664

国勢調査(総務省統計局)より

女性の年齢階級別人口(平成14年10月現在)

(単位 千人)

都道府県	総数	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～
北海道	2,962	2,067	1,687	1,304	835	451
青森県	770	542	451	348	234	130
岩手県	732	516	435	342	239	138
宮城県	1,213	802	649	492	323	182
秋田県	619	453	389	308	218	128
山形県	639	453	384	302	215	132
福島県	1,086	743	619	477	330	197
茨城県	1,502	1,007	813	620	391	221
栃木県	1,012	683	553	421	271	156
群馬県	1,031	703	569	444	287	164
埼玉県	3,473	2,290	1,771	1,345	780	368
千葉県	2,989	2,005	1,569	1,200	716	356
東京都	6,138	4,161	3,184	2,463	1,585	819
神奈川県	4,260	2,832	2,158	1,646	996	488
新潟県	1,270	892	746	590	407	245
富山県	580	412	342	274	183	107
石川県	609	418	340	267	175	102
福井県	427	296	244	192	131	79
山梨県	453	310	252	196	133	79
長野県	1,136	793	652	519	359	218
岐阜県	1,087	738	599	467	304	168
静岡県	1,920	1,319	1,065	826	535	295
愛知県	3,562	2,336	1,809	1,387	855	435
三重県	958	660	536	419	277	157
滋賀県	688	446	354	269	171	97
京都府	1,369	920	738	586	376	208
大阪府	4,519	3,025	2,351	1,842	1,141	559
兵庫県	2,898	1,957	1,557	1,209	774	417
奈良県	751	506	406	315	196	105
和歌山県	559	396	327	260	177	103
鳥取県	319	223	188	148	104	64
島根県	395	285	244	198	142	89
岡山県	1,016	695	573	456	307	181
広島県	1,488	1,018	825	649	424	243
山口県	801	574	485	393	269	158
徳島県	431	304	254	201	138	83
香川県	530	370	307	244	164	98
愛媛県	786	558	466	370	252	149
高知県	428	309	262	212	148	91
福岡県	2,646	1,772	1,434	1,107	718	400
佐賀県	461	315	263	204	141	84
長崎県	800	555	464	361	249	147
熊本県	981	681	569	443	309	185
大分県	645	456	383	303	208	123
宮崎県	617	429	360	279	191	112
鹿児島県	945	656	553	432	311	191
沖縄県	681	415	323	230	153	86
全 国	65,183	44,295	35,497	27,557	17,842	9,790

国勢調査(総務省統計局)より

子宮がん検診、乳がん検診の都道府県別受診者数

都道府県	子宮がん検診		乳がん検診	
	頸部	体部	視触診方式のみ	マンモグラフィ併用方式
北海道	92,629	9,023	65,965	11,398
青森県	64,569	1,761	47,583	20,837
岩手県	76,803	987	67,037	18,266
宮城県	100,238	2,841	57,049	18,881
秋田県	51,764	366	53,524	770
山形県	65,318	855	53,793	9,895
福島県	78,957	2,337	48,937	3,128
茨城県	74,439	2,573	34,441	22,720
栃木県	53,209	2,017	45,183	9,601
群馬県	84,416	3,372	90,024	3,748
埼玉県	140,125	41,094	80,208	38,164
千葉県	202,776	20,763	143,521	44,027
東京都	98,287	17,762	88,124	614
神奈川県	60,647	12,905	57,604	-
新潟県	77,494	1,487	55,343	3,474
富山県	27,704	3,790	3,180	26,461
石川県	21,911	725	17,409	4,220
福井県	17,078	127	15,930	230
山梨県	29,684	4,108	25,398	5,991
長野県	55,007	2,328	50,593	1,189
岐阜県	49,631	3,355	36,928	14,401
静岡県	110,794	4,744	107,262	900
愛知県	87,000	3,282	62,793	25,260
三重県	37,615	3,467	31,817	1,253
滋賀県	35,475	1,029	29,545	1,016
京都府	42,150	1,606	32,964	425
大阪府	146,440	19,589	116,481	6,448
兵庫県	60,819	2,787	45,514	434
奈良県	35,367	15,541	36,882	101
和歌山県	20,282	2,776	6,983	12,357
鳥取県	26,482	714	28,959	1,057
島根県	25,874	621	18,353	524
岡山県	44,915	71	36,883	3,792
広島県	34,051	103	34,413	613
山口県	37,396	3,308	33,404	21
徳島県	27,395	964	26,616	2,041
香川県	23,999	216	21,409	1,147
愛媛県	31,344	24	21,427	6,780
高知県	25,007	480	27,326	-
福岡県	84,589	911	76,375	3,804
佐賀県	36,874	925	16,602	3,958
長崎県	31,163	1,785	32,074	2,163
熊本県	59,439	248	36,058	14,165
大分県	36,426	-	22,991	5,010
宮崎県	29,858	544	15,762	1,932
鹿児島県	51,068	165	13,177	16,641
沖縄県	43,982	332	41,545	55
全 国	3,825,670	332,495	2,830,296	448,916

※平成13年度地域保健・老人保健事業報告より

※政令市等は別掲

政令市等	子宮がん検診		乳がん検診	
	頸部	体部	視触診方式のみ	マンモグラフィ併用方式
東京都区部	179,171	25,943	134,272	21,201
札幌市	78,625	18,447	47,961	-
仙台市	57,912	3,971	33,427	13,022
千葉市	37,563	9,296	26,669	-
横浜市	90,818	19,542	49,700	8,130
川崎市	19,650	4,845	9,686	1,617
名古屋市	45,898	-	28,222	-
京都市	18,154	1,524	18,888	-
大阪市	59,357	6,006	18,537	-
神戸市	34,245	-	21,959	-
広島市	27,324	4,505	22,433	2,492
北九州市	15,501	-	9,875	-
博多市	36,642	-	22,249	-
旭川市	17,300	2,346	13,183	-
秋田市	10,172	793	9,674	-
郡山市	10,684	403	7,563	4,407
いわき市	8,262	532	9,386	-
宇都宮市	11,491	826	13,417	-
横須賀市	6,238	-	3,199	2,970
新潟市	11,977	985	10,516	-
富山市	8,259	1,664	3,245	5,849
金沢市	13,370	1,571	5,638	1,865
長野市	9,743	1,109	3,332	100
岐阜市	8,548	-	6,702	-
静岡市	8,193	994	7,553	-
浜松市	15,489	429	16,188	-
豊橋市	11,660	-	6,424	6,137
豊田市	4,755	-	4,886	628
堺市	22,876	1,649	14,816	-
姫路市	7,113	1,332	4,951	-
和歌山市	13,024	1,508	9,780	-
岡山市	16,243	1,442	20,936	-
福山市	7,637	-	9,681	-
高松市	14,762	2,248	16,525	-
松山市	7,410	195	2,427	2,710
高知市	6,660	-	5,772	-
長崎市	8,462	1,901	5,950	-
熊本市	9,573	534	8,960	-
大分市	7,034	-	-	4,885
宮崎市	9,280	159	7,303	-
鹿児島市	18,112	2,754	3,815	1,316
小樽市	5,100	-	348	1,223
函館市	7,335	4,014	3,702	-
相模原市	10,152	1,700	9,379	-
東大阪市	18,183	4,121	11,957	-
尼崎市	4,783	-	-	-
西宮市	4,476	141	1,687	273
倉敷市	6,181	56	8,734	-
呉市	3,380	259	1,240	-
下関市	4,312	1,090	1,070	-
大牟田市	3,205	410	2,927	-
佐世保市	4,886	443	2,163	179

## 平成16年度社会保険診療報酬における改定（がん検診関係）

### 1. 乳がん

- (1) 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（マンモトーム）

【新設】（一連につき）3,400点

- (2) 乳房部分切除術（腋下部郭清を伴わないもの）

【新設】20,000点

### 2. 前立腺がん

- (1) 腫瘍マーカー（PSA）

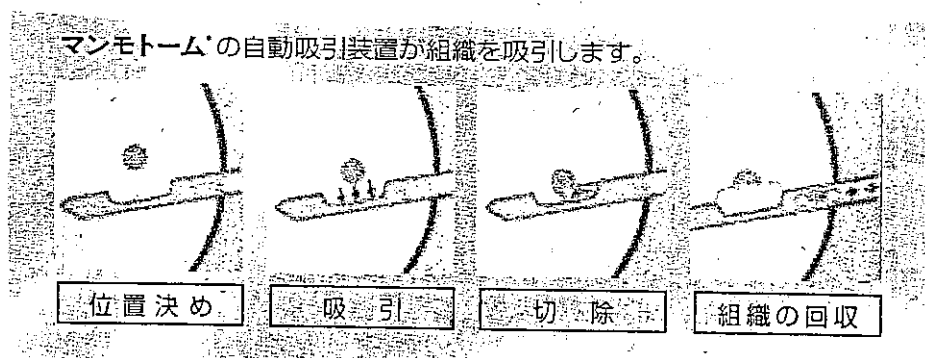
【再評価】がんを強く疑う数値であるが確定診断のつかない

症例への定期的測定を可能とする。



## 画像ガイド下吸引式乳腺生検術について

- 現在、X線撮影による乳ガン検診などで、乳ガンの精密検査を行う場合は、外科的に乳房の一部を切開し、乳ガンの可能性のある部位の組織を取り出して、悪性か良性かの診断を行っている。
- 外科的な切除の結果、悪性である場合は50%程度にとどまり、良性の場合は手術を必要としない場合もある。
- 画像ガイド下吸引式乳腺生検術は、マンモトーム穿刺針を用いて乳ガンの可能性のある部位の組織を取り出して、診断を行う方法である。  
外科的な方法と比較して低侵襲であり、入院も不要となる上、検査後の乳房の変形がないなど、患者のQOLにも寄与するものである。



乳房生検比較		
	マンモトーム生検	外科的生検
傷痕	0.3~0.4cm	3cm程度
縫合	不要	必要
痛み	ほとんどない	場合によりあり
変形	なし	場合によりあり
入院	不要	場合により必要